

夏号

パシオン通信 夏号

東国三社

システム開発部

M・S

お疲れ様です。Mです。

久しぶりに少し遠出をしたいと思いたち東国三社の事を知ったので今回行ってきました。

東国三社とは「鹿島神宮」「息栖神社」「香取神宮」の三社を指し、関東最強のパワースポットらしいです。今回は三社について紹介したいと思います。

1. 鹿島神宮

鹿島神宮は茨城県の鹿島市にあり、紀元前660年に神武天皇がタケミカヅチノオオカミをこの地に祀ったのが始まりと伝えられているそうです。



主なご利益は勝利・必勝祈願などです。敷地も広く、いろいろ見るところがありますが、なかでも鹿に餌やりが出来るのがオススメです。



2. 息栖神社

息栖神社は茨城県神栖市にある神社です。1200年以上の歴史を誇る神社で主なご利益は交通安全や道中安全などです。忍潮井という井戸がありとても綺麗なのでオススメです。



3. 香取神宮

香取神宮は千葉県香取市にあります。経津主大神を祀り勝運・交通・災難除けなどにご利益があります。ここには要石という石があり地震を鎮めるとされる霊石です。この要石がパワースポットになります。



また、三社巡って完成をする「東国三社お守り」も一緒に集めてきました。

↓本体

↓御神紋シール



このお守りは木製の本体に三社を巡って集めた御神紋シールを貼って完成させます。

最強の運が手にはいるらしいので今年は良いことがあればいいなと思っています。気になった方は是非行ってみてください。



目次

東国三社	1
首都圏第三空港(候補)	2~3
交通事故と大人の対応	3
A- 父さん母さん(ヤヤヤ)	4



首都圏第三空港(候補) システム開発部 S・S

その昔、名称に「東京」をつけようとしたところ、批判され撤回した茨城空港に行ってきました。



場所は、茨城県小美玉市にある航空自衛隊・百里基地の隣(与沢百里)で移動は車やバスになります。当日は路線バスを利用して移動しましたが、茨城県庁から茨城空港まで約40分でした。(水戸駅からは約1時間)

本数は少ないですが、東京駅直行の高速バスも運行しています。以前は茨城県からの補助もあり、航空利用者は500円で高速バスを利用可能でしたが、現在は廃止されました。

滑走路の百里飛行場を挟んで反対側に百里基地があります。百里飛行場は、百里基地の管理で軍民共用の飛行場になります。このため、茨城空港の正式名称は百里飛行場になります。平日であれば飛行訓練中の自衛隊機も見ることができます。

現在の就航先は、国内線が札幌・神戸・福岡・那覇、国際線が台湾(台北、高雄)です。(国際線は木・日曜日のみ就航。中国便(上海、西安)は運休中)。

※就航情報は変更される場合があります。開港から13年目となる今年の3月には空港周年祭も行われました。

■空港内

空港ターミナルビルに入って正面にエスカレータ、左右に国内線と国際線のチェックインカウンターがあります。

1階には北海道でシェア1位、本州では埼玉県と茨城県のみ展開している某コンビニもあります。(茨城空港の近くにも店舗あり)

エスカレータを上がり2階へ移動すると飲食店や物品販売の施設があります。少数ですが自衛隊グッズも売られてました。2階からは展望デッキへ移動できます。



展望デッキは透明のガラス張りで出発前の飛行機の様子や、肉眼だと見えにくいですが百里基地を確認できます。

正直、羽田空港や成田空港があるので茨城空港の利用者は少ないと考えていましたが、大分混雑していたのは驚きました。



■空港外

空港ターミナルビル前の駐車場は、何日停めても料金無料です。茨城県は主に車の移動が大半で料金無料の影響もあり、ぼぼ満車状態でした。さらに、栃木県や福島県といった近隣の他県ナンバーの車両も多く見かけられました。また、空港ターミナルビルを出てすぐ横に茨城空港公園があります。

こちらは百里基地に関連しているのか、退役した戦闘機が2台展示されていました。

ちなみに今回は行ってませんが、百里基地側に雄飛園という公園があり、こちらも同様に戦闘機が展示されているようです。

(百里基地があるためか、身分証提示など入場時の注意事項あり)



■その他

茨城空港から徒歩で10分ぐらい移動した場所に空のえきそ・ら・らがあります。

農産物や加工品販売、公園の様なスペースなど所謂道の駅ですが、訪れた日はイベント開催日だったこともあり、大勢の家族連れで賑わっていました。あと、ウサギとヤギがいて触れ合うこともできます。人が触ってもヤギは気にせず黙々と雑草を食べていました。





2ページより続き 最後に、こちらも茨城空港から徒歩で10分ぐらい移動した場所に百里神社があります。周辺は木々ばかりで、神社の境内に見えないほど何も無い状態ですが、現在は寄付を募り整備を検討している様です。なお、百里神社の御朱印は素鷲神社（そがじんじゃ）で頂くことができます。



今回は散策のみで飛行機は搭乗していませんが、機会があれば利用したいと思います。ただ、気軽に利用しづらい点として、茨城空港へのアクセス（車かバスしかなく本数も多くない）とフライト本数（朝、夜の発着が大半）でしょうか。他に、茨城空港や百里基地の周辺も神社や飛行機の撮影スポットがあっただけでなく、行ってみたいのですが、基本的に車移動が前提の場所が多く、徒歩では大分時間がかかるため断念しました。



交通事故と大人の対応 システム開発部 S・R

少し前の話ですが、最寄り駅前で交通事故がありました。私は駅から出て、向かいへ渡る信号に向かってるところでした。

突然、大きな音と機械の焼けるような臭いがしました。何が起きたのか、気づかないまま信号に到着しましたが、信号の1,2メートル先で、私が寄った店の荷下ろしをしているトラックに軽自動車が入り込んでしまいました。荷台のかげに作業員の方が倒れていて、直撃したわけではなく、大きな怪我や出血は見当たりませんが、意識がないようでした。

向かい側の信号待ちをしていたランニング中の若い男性が駆け寄ってきて、「やばくないですか！？やばいやばい！！」と叫びながら、すぐに2人で警察と救急車へ電話しました。

いままで他人のことで通報したことは何回かありますが、直接近くの警察署に行っていたため、電話での通報は初めてでした。

焦っている状況では、なかなか伝えるのが難しく、目の前で事故が起きて、それを目撃したと伝えているにもかかわらず、「運転手ですか？ぶつけられた側ですか？」といった形式的な質問が続き、もどかしくイライラしてしまいます。

実際には複数の通報があったらしく、もっと淡々と伝えてもよかったかもしれません。

通報中に周囲に徐々に人が集まり始めました。近くのスーパーの店員、野次馬など、約20人ほどいたと思います。

私たちは引き続き電話で状況を伝え、国道で交通量も多いため、発煙筒を焚き、大声でトラックやバスを誘導したり交通整理をしている人もいました。そこまでできる自信はなかったです。

一問一答のようなかたちでナンバーや、車種などを確認し、警察に伝えているときに気づいたのですが、突っ込んだ軽自動車の運転手がどこにもいませんでした。もしかしたら飲酒運転などで、少しでも時間を稼ごうとしていたのかもしれませんが。



しばらくして警察が到着し、改めて状況を説明したあと解放されました。

今回は私と同年代や年上の方々がたくさんいたのですが、ときには「交通整理できるぐらいの大人として対応しなければならぬな。」と何もせず「運転手が逃げたらしいよ！サイテー！！」と、ただただ野次だけ飛ばしている若者を見ながら思いました。



アー 父さん母さん(ハイハイヤー) システム開発部 I・H

Iです。梅雨の湿っぽさと例年に比した暑さで過ごし辛く感じております今日この頃。皆様は如何お過ごしでしょうか？

パシオン通信記事執筆依頼が来た時、私もChatGPTに記事の文面を書いて貰い、最後にネタバラシを行ってアンテナ張ってるITエンジニアらしさのアピールと問題提起兼ねた事でもしよつかと思っておりましたが、こればかりは自分の口で伝えたいと思ひ内容を改めました。

最初にご報告致しますと私の妹が妊娠していることが分かりました。私の家族は3人兄弟で初子が私。第二子が弟。三子が妹の家族構成です。上の男兄弟二人は結婚・子供の報告も無く、ようやく妹が昨年末に結婚の報告があった状態で立て続けの目出度い話となりました。出産予定は11月頃になる見込であるとの事です。性別はまだ分からないそうで、今後の楽しみとなりました。妊娠中の妹から聞いた話では、35歳以上で高齢初産婦と呼ぶそうで32歳の妹はまだまだ問題無い様です。妹自身、不安はあるそうなのですが、当人が前向きなので私も安心しております。妹夫婦は最近、家を購入し産後は今まで通り仕事を続けて稼がないと！と張り切っている様子でした。兄として、何かあれば出来る限り協力したいと思っております。

父は妹の旦那について、当人らの居ない所で「ロクな挨拶も無く長く同居していた」「旦那の両親からは1度会ったきり、しっかりした顔合わせも無い」と小言をよく聞きます。ですが、何より一番喜んだのは父かもしれませんね。今のご時世、結婚は当人だけの問題で家族等やその親族同士が密に付き合いが無いのは、私の知人らのケースでもそうだと父を宥めておりました。

父は孫については悪からず思っている様で、私が子供の頃に父と遊んでもらった記憶はあまりありませんが、それはそれとして孫とは一緒にキャッチボールがしたいそうです。

母については昔保育士であった事もあり、昔から私らのみならず近所の子供たちも含め非常に面倒見が良く、逆に子供からも好かれるタイプでした。言わずもがな孫については嬉しいでしょうけれど、最近は何も壊し

やすくしておりますので体調に響くほど張り切りすぎないか心配です。

話題に出て来ない弟につきましては家族仲が悪いわけでは無いですが、あまり帰省も疎であり音信不通が常の様になっております。

私としては正直生きていく上で一番賢く立ち回るのは弟だと認識しておりますので心配はしていません。

弟は未婚ですが沖縄出身の彼女がおり、弟の方は覚悟を決めるようつつかれた心境なのかも知れません。

こういった私の家庭事情において、今回の妊娠報告は喜ばしい限りです。もちろん妹だけでなく、これから生まれてくる新しい命にも幸せになって欲しいものです。

さて、ここから少し話は反れますが先日、久しぶりに学生時代の友人らと会う機会がありました。その友人らは仕事や家庭を持っていますが、それぞれ忙しい合間を縫って時間を作ってくれます。有難い限りです。

私も含め全員が年相応に老け込み、それぞれの近況を報告し合いながら懐かしさに花を咲かせていました。

そんな中、一人のまだ新婚とも言える友人が奥さんと上手く行っておらず喧嘩ばかり続いているという愚痴をつらつらと語るのです。私にとってそれは、聞きなれた話の1つでありどういう訳か私の知人・友人は夫婦仲に難を抱える人たちが多い様なのです。

勿論、妹夫婦には多少喧嘩もあれど上手く行って欲しいものです。しかし友人等の様に不仲でありながらもすり合わせて上手くやっ行くのも一つだと思います。

かくいう私は今一つ結婚というものに価値を見出せずこの歳まで迎えておりますが、これも一つの在り方かも知れないと思っております。

世間では少子化が問題視され若年層の低取得が問題とされておりますが、その前に根本的な所から…まず「結婚生活の良さ」を説くのが何よりだと思うのです。

つまりは惚気で良いから、幸せそうな顔をして見せつけてくれれば。そういった姿をTVや目につくメディアで露出されていれば、少なからず影響されるものと私は考えております。私の周りだけでも、どうか皆幸せそうに、見せつける位に惚気ていてくれ…。

そう思って止まない今日この頃でありました。

家族、お大事に。



本紙はパシオン社員の親睦を目的にした社内報です。パシオンをご理解下さる関係者に限定配布しております。本趣旨にもとるご利用、お取り扱いにはご容赦いただきます様お願い致します。